

市長の窓

2月28日能代ミュージカルで、住職役を熱演(左)



しげのぶ
滋宣の

ぼうちゅう かん あんちゅう めい
“忙中、閑あり。暗中、明あり。”
～ その10 ～

～ 下萌(したもえ) ～

春になって、地面から出てくる草の芽のことを言います。

ようやく少しずつ寒さも和らぎ、木の芽もふっくらとしてきたようです。

「萌える」は草木が芽を出すことですが、「下萌」は木の芽とは違い、地面から出てくる草の芽のことで、大地に春がやってきたことを知らせる緑の合図です。

下萌の 大盤石をもたげたる (高浜虚子)

虚子の句に読まれているように、若くて柔らかい草の芽は、しかし、大きな石を持ち上げるほどの力を秘めているのです。

冬から春へ、驚くほどの生命力で伸びてゆく草の小さな芽生えます。

私たちも、この生命力に学びたいものです。

能代市長 齊 藤 滋 宣